



しかはま自然観察会

# のらえもん

2019 年度

No. 5

2019. 7. 13 ~ 15

『 人も 自然も みんな友だち 』

## 第5回活動

土呂部の里山キャンプ

～自然をいっぱい受け止めよう！

～サバイバルに挑戦しよう！

今年の梅雨は、雨続きでした。が、キャンプはどうだったのでしょうか？

ゲンジボタルは、見られたのでしょうか？

魚つかみは、できたのでしょうか？

1, 日 時：2019年7月13日～15日 2泊3日

2, 天 気：1日目・・・曇り

2日目・・・雨

3日目・・・曇り

3, 場 所：キャンプインドロブックル

栃木県日光市土呂部97

4, 交 通：現地集合

5, 参加者：6家族 総数 20人 内訳 大人 10

小学 6

幼児 1

スタッフ 3

6, 講 師：前ウオッチングふるとねの会

・ 小林 孝夫・・・野鳥研究家

・ 工藤 泰恵・・・日本クモ学会会員、東京クモ談話学会会員

## 7, 活動の様子

昨年に続き、2回目のキャンプ場です。活動はほぼ同じような内容でしたが、天候・参加者・参加人数・子どもの人数などのちがいによって、新鮮な活動になりました。

○ 1日目（7月13日・土曜日）

\* 天気・・・どんよりと曇った1日でした。テントを張ったり炊事の用意をするときにも雨は降らず、とても助かりました。

\* 野鳥・・・講師の小林様が早めに来て、バードウオッチングをしていました。「オオルリ・ホオジロ・きびタキ・キセキレイを観察出来ました」と報告していただき、キャンプ場でも姿を探したり声に注目したりしました。すると、か

わいらしい鳴き声が聞こえてきました。「キーキョロキーキョロ」です。「この鳥は、イカルです」「都市近郊では、なかなかみられません」ということでした。なんだか、得をしたように思いました。明日の探鳥も、楽しみです。

\* もう一つのテント

集会場のようなテントが1棟立ちました。鉄製の支柱が6本、その上に白く厚く丈夫な三角柱のテントが上げられました。土呂部自治会と名前が入っています。キャンプ場の管理人さんが「使うのなら、どうぞ」といわれたのです。これはとても役にたちました。雨模様の中、全員が集まれる場所になったからです。ミーティングしたり子どもたちが集まったり、大人がちょっと休憩しながら談笑でき、とても有効でした。来年もここでキャンプするのなら、ぜひ借りたいと思いました。日よけにもいいんですね！

\* ゲンジボタル鑑賞

「この天気だと、ホタルは出ないかもしれないね」と、この集落唯一の民宿「水ぼうしょう苑」の女将さんが言う。湿りがちになる気持ちを押し、「では、事前に調べて来ようか」と、2人で車に乗った。去年は乱舞していたのだが・・・ゆっくり歩きながら近づいてみると、「光ってる！光ってる！」右手側の大きな木の生えている所に、たくさん明かりが点滅していた。「これなら大丈夫だ」と、晴れ晴れとした気持ちで引き返した。

出発前、ホタルの事前学習をした。まず、ホタル鑑賞のマナーだ。「ホタルは光を嫌うので、懐中電灯は必要最小限度にすること」「ホタルが光っているのは、新しい命を誕生させるためのささやき」だからです。もし、懐中電灯の光が交差すると、そのささやきがうまくいかないようです。光こと自体が大きなエネルギーを必要としており、それ故、夕方7時過ぎから光始め、9時ぐらいには終わってしまうようです。

車に分乗して、現場に到着しました。静かにゆっくり近づいていくと、あっちでもこっちでも点滅しています。「うわー、すごいね！」「きれいだね！」「なんだか、花が咲いているみたい！」「光が、大きく明るいな！」「夢の世界にいるみたい！」

車道を歩いてみました。両側の樹木の枝から光が点滅しています。まるでホタルのトンネルです！全員がうっとり見入りました。「きれいだね！」「きれいだね！」の言葉しかありませんでした。

事前学習の「マナー」を、最後まで守ってくれました。ホタルの新しい命に未来を感じながら鑑賞することができました。

○ 2日目（7月14日・日曜日）

\* 天気・・・朝から小雨が降っています。降ったり止んだりの一日でした。

\* 里山散策

雨合羽を着て傘を差し、日光茅ポッチの会が復活させている草原に着きました。草原は、電気柵で囲われています。鹿が入り込んで、集落の人々が「盆花」とよんでいた草花が食べられてしまうからです。この日は、わずかにニッコウキスゲ・オカトラノオ・ナベナ・ホタルブクロ・ウツボグサ・オオバギボウシな

どの盆花を目にすることができました。

ワラビの最盛期は6月です。が、冷涼で雨の多いためか、すっかりシダになってしまった間にたくさんのワラビが芽を出していました。ワラビをとりながらの野鳥観察・クモ観察になりました。

\* 野鳥観察

小林様が一人、目と耳を鋭くしています。「アッ、ホオジロがあの木に止まっていますね」と、指をさしてくれます。が、その方向を見ても声が聞こえてくるだけです。樹木の葉が繁り、なかなか野鳥の姿を確認できません。「もう昼も近いので、雨のこともあり、野鳥の出は少ないですね」と。それでも、「ヒヨドリ・モズ・ホトトギス・カケスを確認しました」という。子どもたちにとっては、皆目見当がつかないという感じでした。

\* クモ観察

草花に目を凝らしているのが、クモ博士の工藤様です。子どもたちは、野鳥よりクモに興味を持てたようでした。一度見つけると、次々と見つけられるからでしょうか。「これ、な〜に?」「どれどれ。これはコモリグモの仲間ですね」「背中に、子どもを乗せて、育てるんです」「この白いクモの糸は?」「これはかくれ帯というんです」「虫をひきつける効果があるようです」子どもたちは、初めて気づくクモの疑問をぶつけてきます。

クモは益虫で、たくさんの害虫を食べてくれるという。クモがたくさんいるということは、生態系のバランスがとれていて自然が豊かな証拠だという。コモリグモの他に、コガネグモの幼体・アズマキシダグモ・ハナグモ・クサグモなどを確認しました。が、名前はおぼえられないし、すぐに忘れてしまいます。

\* お昼のレシピは何かな?

炊事場ではいい匂いが立ちこめている。なんと、ローストビーフをつくっているのだ!大きな肉の塊2個分で!

梅北シェフは、やおら肉を取り出し、金串をぶつぶつ突き刺している。そこにニンニクをすり込み、全体に塩こしょうをふりかけた。フライパンに肉塊を入れ、炭火で表面を焼き始める。それを新聞紙にくるんで、余熱で熟成させるのだという。一切れ食べさせてもらったら、「うまい!」

野外料理の醍醐味は、この大胆さかもしれない。汚れは気にならず、遠赤外線炭火。回りは緑の環境。そして、ゆったり過ぎる時間。

\* 魚つかみ

3時。今日のメインイベント。管理人さんが、小川を掃除し網を張り、準備をしてくれた。木のトンネルの中なので、雨の心配はいらない。サンダルに半ズボン姿の子どもたちが集まってくる。40匹ほどのニジマスが放された。水は冷たい。魚は元気いっぱい。なかなかつかまらない。逃げる魚に追う子どもたち。そのうち、水の冷たさも濡れる服も忘れて追う!追う!だんだん、どの辺に魚が隠れるか分かってきた。「ここに、いる!」「つかまえた!」「あつ、逃げた!」30分のどたばた劇。

つかまえた魚は料理し、おやつがわりに食す。アルミホイル焼きは、水っぽく

臭いがあって美味しくなかった。それに比べて、網焼きは美味しかった。

\* キャンプファイヤーと花火

7時。火の神の梅北さんが登場。伊吹くんがその火をもらい、薪に点火。～も一えろよもえろ一よほのおよも一えーろー～の歌に合わせて、炎が高くなる。ダンスが始まった。オクラホマミキサーでは、神妙な顔つきで手を握る男の子と女の子。いいなー!!!

花火の番だ。今日は、存分に花火ができる!火花が散る!火をもらう!線香花火をゆっくり楽しむ!「最後まで、できたよ!」と微笑む子どもたち。

みんなみんないい顔だった!花火が終わると、雨がポツポツ・・・。

○ 3日目 (7月15日・月曜日)

\* 天気・・・曇り空。薄日が差す。

\* 朝食

残りもので朝食の準備。たくさん残ったご飯はおじやに。キャベツと卵を入れ、出来上がり。でも、あまり食べてくれない。結局、たくさん残ってしまった。生ものは、残ると後が大変。スコップを探し、キャンプ場のはずれの、害のおよばない所に穴を掘り、土をかけて始末した。来年までには良い肥料となって、回りの草木を育ててくれるでしょう。

昨年比べて、ゴミは少なかった。

\* 記念写真

8時に全員集合。講師の小林さんに挨拶をし、横断幕の前で記念写真。

小林さんは「私は、初めてのキャンプ経験でしたが、とても楽しい思い出をいただきました。今回はバードウォッチングの機会をつくっていただき、ありがとうございました。身近な所に野鳥が居ることに関心を持ってもらえればうれしいです。今朝も探鳥に出かけてみましたら、川のせせらぎにカワガラスがいました。川の中の虫を食べていて、水の中を潜るんですね。キツツキの仲間のアカゲラもいました。興味を持つと、だんだん鳥が目に入ります。ゲンジボタルを鑑賞出来、大変よかったです。この度はお世話になりました。ありがとうございました」

みんな感謝の言葉を述べた後、ステキな横断幕がよく見えるように並んで、「ハイ、チーズ!」「パチリ!」となりました。

\* トンボとりにバトミントン

まだまだ時間に余裕があります。大人がテントを片づけて居る間、こどもたちは思い思いに遊んでいます。広い緑の空間で、トンボはアキアカネです。秋になると赤くなって山を下りていくようです。今の色はうす茶色です。シャツにも顔にも頭にも、止まってくれるのです。とにかくいっぱいいるのです。歩いていると、踏んでしまいそうです。管理人さんの話しによると「突然現れて、突然いなくなってしまう」とのことでした。

バトミントンで打ち合いする子どもどうしの様子も、美しいのです。

「夏休み自然学校を、のらえもんで、ここで、1週間ぐらい開きたいな～」という思いが、じわ～っとわいてくるのでした。

\* 10時解散

「またネー!」「またネー!」と、手を振り合います。

雨の3日間だったこと、ゲンジボタルの大きな点滅、初めて野鳥やクモのことを学んだこと、野外で学んだ太陽系、冷たい水の中の魚つかみ、キャンプファイヤーと花火、初めて異性と手をつないで踊ったこと、・・・、たくさんの思い出を車に乗せて、それぞれの家路に向かいました。

\* 最後の挨拶

スタッフは、管理人さんに挨拶しました。テント、とても役に立ちました。この地域唯一の民宿「水ばしょう苑」の女将さんにも、「いろいろお世話になりました。ありがとうございます」と、挨拶しました。この民宿は、2月のメイプルシロップづくり体験ツアーのときに、これまで3年連続宿泊させてもらっている所です。3回目は18人も宿泊し、大家族の楽しい夕食を囲んだことを思い出すのです。

みんな サヨナラをした  
その サヨナラは  
また 会おうね! という  
合図だよ ネ?  
この 場所で あの 里山で  
ホテルを見て 魚をつかんで  
キャンプファイヤーで踊って 花火をして  
また 過ごしたいな  
今度会うときは  
なんか 大きく できそうだな  
サヨナラは  
また 会うヨ!  
ということだよ ネ?

8, 親と子のいきいき感想

○ さかなつかみが たのしかった。

はなびが たのしかった。

ほたるを なっちゃんがほたるを つかまえたのが すごかった。

舎人第一小1年

○ 1日目は川に行き、さるを見て、親と子どもがけんかをしている時を見れてよかった。

2日目は、キャンプファイヤーで、みんなでおどり、花火はとてもきれいで、とても楽しかった。

キャンプはね みんな楽しく また来たい

たくさんね ホテルがまるで 星空だ

子安小6年



- ほたるをみれて よかった。  
はなびが たのしかった。  
おさかなを てでさわるのが たのしかった。  
さるを みた。

グローバルキッズ保育園

- 1日目に、さるを見ました。いっぱいいて、近くで見れてよかったです。  
2日目に、雨がふっていたけど、里山でワラビをとりました。そのあと、おんせんにいきました。  
帰ってきてから、魚つかみとキャンプファイヤーをして、たのしかったです。  
二日目に 雨ふったけど 楽しいよ

鹿浜五色桜小3年

- キャンプファイヤーで、花火をしたりおどったりしたのが楽しかったです。  
雨だったけど、さいごまでキャンプファイヤーをやれてよかったです。  
川で、魚つかみをしたり遊んだりしたのが楽しかったです。  
キャンプはね とても楽しい ところだよ

子安小4年

- キャンプファイヤーで、せんこう花火を最後までやれてよかった。  
最後まで 心に残る 花火かな

幸ヶ谷小5年

- ホタルをみて、ふられているホタルやメスをさがしているホタルとかがきれいでした。  
魚つかみで、7匹とれて、よかったです。  
なつかしや せんこう花火 なつかしや

王子小2年

- めったにない機会におさそいくださり、ありがとうございます。  
楽しい思い出をつくらせて頂き、有意義に過ごしました。  
いろいろな経験、ためになりました。  
ありがとうございます。
- 初めてのキャンプ、とっても楽しかったです。  
でも、つかれました。  
ワラビ摘み、初めてでしたので、自分でとったのを食べるのが楽しみです。  
ホタルは、孫に見せてあげたいと思いました。
- 猿を見ましたが、近くに行ったら逃げました。望遠レンズで、何となく撮れました。  
蛸は去年よりいっぱい見れ、とても綺麗でした。  
毎日雨が降ったけど、それはそれで、悪く無かったです。  
花火のとき、止んでよかった。  
猿を見た 自然感じた 雨降った